



Title	『HALAL CHECK CARDS』 : イスラム教徒と共につくる食のためのコミュニケーションツール
Author(s)	加藤, 一葉
Citation	デザイン理論. 2016, 67, p. 108-109
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/56319
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『HALAL CHECK CARDS』

— イスラム教徒と共につくる食のためのコミュニケーションツール —

加藤一葉／東京工科大学

1. はじめに

日本を訪れたイスラム教徒の人々に向けて、日本の食事に戸惑う人を少しでも減らし食のストレス緩和のため、「ハラル食」であるかどうかチェックできるコミュニケーションツール『HALAL CHECK CARDS』を提案する。

2. 作品制作の背景

本学のイスラム教徒であるサウジアラビアの留学生との交流から、安心して食べられる食材を手に入れるために様々な悩みを抱えていることを知ったことがきっかけとなっている。ハラルとは、イスラム法で認められたこと（もの）という意味のアラビア語である。ハラル食は、イスラム教で禁じられている豚肉やアルコールなどを含まない食材のことを示し、食事規制を持つ宗教としてヒンドゥー教、ユダヤ教などもあげられるが、イスラム教は特に戒律が厳格とされている。

しかし、イスラム教の戒律を満たし製造されている食材の証であるハラル認証マークが表示された食材は日本ではまだあまり流通していないのが現状である。そのため、日本で暮らすイスラム教徒の人が、日々の食材をどのように購入し、外食時に何に困っているのかについて、ヒアリングを行い本学の卒業制作の課題として取り組んだ。

3. イスラム教徒へのヒアリング調査

デザインの協力者であるサウジアラビアの学生は、家族と日本に住んで3年になる。食材の購入についてヒアリングした内容は以下

の通りである。

- ・食材の購入は近所のスーパーやハラル専門店へ、主にお米、野菜、鶏肉、牛肉、羊肉を購入。牛肉と鶏肉は産地が重要で、オーストラリア産、アメリカ産、ブラジル産のものでないと食べられない。
- ・母親は日本語がわからないので自分が成分表をチェックしながら購入。調味料など日本独自の食物があるので日本語が分からないと誤って食べてしまう。
- ・醤油は生成過程でアルコールが発生しているためハラル醤油を購入している。
- ・お菓子のゼラチンも豚由来だと食べられないため、販売員に聞いても「何のゼラチンかわからない」と返答されることがほとんどである。

4. 『HALAL CHECK CARDS』の概要

ヒアリングから「実際にお店の人に聞けるツール」が必要であることがわかり、プロトタイプを制作し、ムスリムの家族に使用してもらった（図1）そして改良を加えて完成し



図1 プロトタイプを使用しているシーン

